

# 東濃社会教育だより

## ～地域学校協働活動～



恵那県事務所  
振興防災課 振興防災係  
社会教育担当:原 賢志  
〒509-7203  
恵那市長島町正家後田 1067-71  
TEL:0573-26-1111 内線 208

## 地域全体で子供たちを育てる地域未来塾

恵那市では、10月から「恵那地域未来塾」が市内4か所で開催されています。この「恵那地域未来塾」は、中学3年生を対象に、「不得意分野を克服したい」・「基礎基本を身につけたい」・「もっと学習したい」という願いをもった生徒が参加しています。また、様々な理由で家庭での学習が困難であったり、学習の仕方がわからなかったりして、学習習慣が十分に身につけていない生徒への学習支援を目的に、地域の子供たちを地域で育てる活動の一つとして実施されています。



上矢作コミュニティセンターでは、「子供たちのために・・・」今年から新たに開催

上矢作コミュニティセンターでは、上矢作中学校より8名、山岡中学校より4名、串原中学校より4名、の16名が参加して実施されています。



時間になると、各自が準備した5教科の問題集を行います。分からない問題があると、随時、先生に質問して教えてもらいます。この日は、始まって数分で、数学の文字と式の問題を一人の生徒が質問し、先生はその子のつまずきの様子を判断して笑顔で一緒に考える姿が見られました。

生徒の感想…「家で勉強するより、集中してみんなと一緒に頑張れる。」「家で勉強していると、与えられた課題(宿題)をやるだけになってしまうけど、ここに来れば、自分の分からなかったことが解決していく。」「学校では聞けなかったことや、進んでしまったことが聞ける。」「もう少し長く勉強したい。」

担当する、夏目さん塚田さんは、元小中学校の校長先生で、現在は上矢作町の自治区運営委員の事務局長(上矢作小中学校の学校運営協議会の会長さん)と会長です。お二人は、「地域の子供たちのために何かできることはないか」と考え、この地域未来塾を始められました。

このように、地域学校協働本部の設立に向けて、地域の子供たちを地域で育て、学校を核として地域を発展させていくことを大切にして、様々な活動が進められています。



塚田さん と 夏目さん

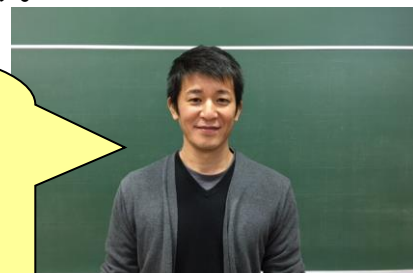
(撮影のため、マスクを外していただきました)

恵那北中では元塾講師の方が、「地域の子供の成長に関わってうれしい」と講師に



恵那北中でも、週に5日、曜日ごとに教科（5教科）を変えて、地域未来塾が開催されています。月曜日は、小野さんによる数学の地域未来塾が開催されました。恵那西中学校より6名、恵那北中学校より10名の生徒が参加しました。講師の小野さんは、地元の人たちの推薦もあり、今年から講師をしていただきます。

地元の人たちの推薦を受けたことと、以前に塾講師をしていた経験を活かして、地域未来塾の講師を引き受けました。子供たちには、やってよかったと思ってもらいたいです。そのためには、地域未来塾で一緒に勉強する中で、自己の成長を実感させてあげたいです。地域の子の成長に関わらせてもらえてうれしいです。



小野さん

(撮影のため、マスクを外していただきました)

岩村・山岡コミュニティセンターでも、保護者世代が「子供によりそえば…」と講師に

また、岩村では週3日、山岡では週1日、日ごとに教科を変えて、地域未来塾が開催されています。

水曜日は浜島さんによる英語の地域未来塾でした。お手伝いに、小澤さん（昨年度、地域学校協働活動推進員研修受講者）も参加して、2人の講師のもと子供たちは、苦手なところの克服に取り組んでいました。



生徒の感想…「分からなかった所を、1つ1つ丁寧に教えてもらって、頑張っただけでやれそうな気がしてきた。」  
「ずっと前にやって、あやしかったところを復習ができた。」

浜島さんは、地域で勉強が苦手だったり、登校が難しくなったりした子などに寄り添えればと、講師の募集に応募されました。また、小澤さんは子供が学校からもらった通信を見て、自分に手伝えることがあれば、ぜひ、次の世代に役に立ちたいと参加してくださっています。

また、地域未来塾で教える中で、学習を積み上げていくために、中学校1・2年生の学習の必要性も感じ、来年度、1・2年生対象の地域未来塾を立ち上げてみたいと考えてみました。

恵那市の地域未来塾では、地域の人たちが積極的に子供たちの成長に関わり、みんなで地域の子供たちを育てていく意識が高まっています。



浜島さん と 小澤さん